

2021年度

教員免許状 更新講習 募集要項



武蔵野美術大学

教員免許状更新講習

教員免許状更新制は、平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により、平成 21 年 4 月 1 日から導入されました。その時々で求められる教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すために行われています。

修了確認期限内に 30 時間以上（うち「必修領域」「選択必修領域」を各 6 時間以上、「選択領域」を 18 時間以上）の免許状更新講習の受講し修了することが必要です。

受講資格

以下のア～ウのすべての要件を満たす方

ア：以下のいずれかの免許状を有する方

- ・小学校免許
 - ・中学校（美術）免許
 - ・高等学校（美術、工芸）免許
- ※相当する特別支援学校教員を含む

イ：以下のいずれかに該当する方

- ・現職教員
- ・教員採用内定者
- ・教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用・非常勤教員リストに登載されている者
- ・教員勤務経験者

ウ：《新免許状所持者》有効期間の満了の日が 2022（令和 4）年 3 月 31 日

または 2023（令和 5）年 3 月 31 日の方

《旧免許状所持者》修了確認期限が 2022（令和 4）年 3 月 31 日

または 2023（令和 5）年 3 月 31 日の方

（第 2 グループまたは第 3 グループの方）下記表をご確認下さい。

《旧免許状所持者修了確認期限 確認表》

該当区分	修了確認期限	
	2022（令和 4）年 3 月 31 日	2023（令和 5）年 3 月 31 日
生 年 月 日	昭和 51 年 4 月 2 日～ 昭和 52 年 4 月 1 日	昭和 52 年 4 月 2 日～ 昭和 53 年 4 月 1 日
	昭和 41 年 4 月 2 日～ 昭和 42 年 4 月 1 日	昭和 42 年 4 月 2 日～ 昭和 43 年 4 月 1 日
	昭和 31 年 4 月 2 日～ 昭和 32 年 4 月 1 日	昭和 32 年 4 月 2 日～ 昭和 33 年 4 月 1 日
更新講習受講期間	令和 2 年 2 月 1 日～ 令和 4 年 1 月 31 日	令和 3 年 2 月 1 日～ 令和 5 年 1 月 31 日

* 上記の年齢該当区分に当てはまらない方でも受講できるケースがあります。別途ご連絡ください。

* 文部科学省 H P にて修了確認期限がチェックできます。本年度の受講対象者であるかご確認ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/013/1420173.htm

開設講習の概要

本学では「必修領域」「選択必修領域」「選択領域」の3領域に対し、それぞれ下表のような講習を開設しています。各講習とも「**対面講習**」「**通信講習**」の二つの形態で開講しています。

各領域を学習後に、それぞれ修了認定試験を受験・合格すれば本学での講習は修了となります。

「**対面講習**」▶該当期間に、本学鷹の台キャンパスにて講義・修了認定試験を受け、合格者は修了。

「**通信講習**」▶自宅に届いた教材を用いて学習後、レポート課題を作成・提出。

レポート合格後、修了認定試験（全国10会場）を受け、合格者は修了。

領域	講座名	対面講習		通信講習	
		日程	定員	日程	定員
必修領域 6時間相当	教育の最新事情	7月27日	119名	4月1日～ (11月最終試験)	—
選択必修領域 6時間相当	A 教育相談といじめ・不登校	7月28日	59名	4月1日～ (11月最終試験)	—
	B 学習指導要領とアクティブ・ラーニングの動向	7月28日	60名	4月1日～ (11月最終試験)	—
選択領域 18時間相当	美術教育実践研究	[実技] 7月29日、30日	7クラス 各17名	4月1日～ (11月最終試験)	—
		[講義] 7月31日			

受講コース・受講料

受講者は以下のⅠ～Ⅳコースから一つを選択し、3領域をセットで受講してください。

*「選択必修領域」はいずれのコースでも **A** **B** どちらかを選択して受講。

*Ⅰ・Ⅱコースの場合、「選択領域」実技講習は7クラスより一つを選択して受講。

*各講習の詳細等は p.4-6 をご参照ください。

【Ⅰコース】		受講料 ¥50,000
必修領域	対面講習	
選択必修領域	対面講習	
選択領域	対面講習	

【Ⅱコース】		受講料 ¥50,000
必修領域	通信講習	
選択必修領域	通信講習	
選択領域	対面講習	

【Ⅲコース】		受講料 ¥30,000
必修領域	対面講習	
選択必修領域	対面講習	
選択領域	通信講習	

【Ⅳコース】		受講料 ¥30,000
必修領域	通信講習	
選択必修領域	通信講習	
選択領域	通信講習	

申込み手続き [郵送のみ]

以下の①～③の書類に必要事項を記入・捺印のうえ、④を添えて下記送付先までお送りください。

- ① 2021 年度教員免許状更新講習受講申込書＋受講希望コース記入用紙
- ② プロフィールシート（A4・両面、顔写真貼付）
- ③ 更新講習受講対象者証明書
- ④ 顔写真 2 枚（1 枚は②プロフィールシートへ貼付）

※②へ貼付したものと同じ顔写真をもう 1 枚同封してください。

申込書類送付先

〒180-8566 東京都武蔵野市吉祥寺東町 3-3-7
武蔵野美術大学 更新講習係宛

＊封筒の表に「**更新講習申込書類在中**」と朱字で記載してください。

＊郵送いただいた書類は返却いたしません。

＊申込書記入例を参照し、記載事項・捺印等の漏れがないように注意してください。

＊申込者が少数の場合は開講しないこともあります。

＊監督者委託型修了認定試験を希望する方は、申込書の記載欄へ印をつけてください。

必要書類を送付します。

I・II・IIIコース申込み期間

2021 年 2 月 16 日（火）
～5 月 31 日（月）
＊当日消印有効

＊16 日以降先着順、定員になり次第募集締切り

＊同日に定員を超える申込みがあった場合は、
抽選にて振り分け

IVコース申込み期間

2021 年 2 月 16 日（火）
～7 月 31 日（土）
＊当日消印有効

受講許可通知について

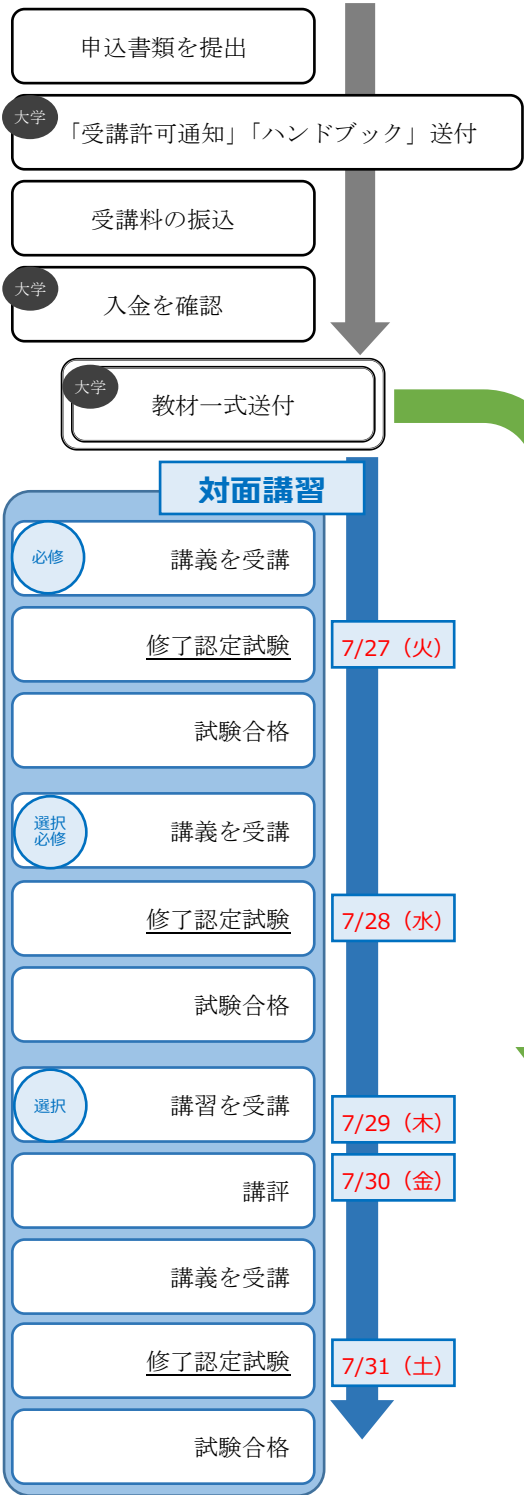
受講の可否については、書類受理後、順次郵送にて通知します。

対面講習については定員を設けています（選択必修領域の A クラスは 59 名、B クラスは 60 名、選択領域の A～G クラスは各 17 名）。第一希望のクラスが定員に達している場合は、第二希望のクラスでの受講となりますのでご了承ください。

受講料の支払いについて

受講許可通知と共に受講料振込票を大学より郵送します。所定の期日までに、金融機関窓口または A T M にて受講料を納入してください。大学窓口での受講料の支払いはできません。

申請～講習のながれ



レポート合格後に受験する修了認定試験（60 分）にて評価します。修了認定試験は、年間 5 回の受験機会があります。日程・会場は以下から選択して受験が可能です。

【日程】
6 月 13 日(日)、7 月 22 日(木・祝)、9 月 5 日(日)、
10 月 17 日(日)、11 月 23 日(火・祝)

【試験時間】
必修領域 12:30～13:30
選択必修領域 14:00～15:00
選択領域 15:30～16:30

【会場】全国 10 会場
東京、札幌、仙台、横浜、名古屋、
大阪、広島、福岡、鹿児島、沖縄

通信講習

必修 教材を用いて学習
選択必修 レポート課題提出
選択 4/1（木）から提出可能

レポート合格

修了認定試験

試験合格

※レポートが不合格だった場合、レポート提出期限までは再提出が可能です。
※修了認定試験が不合格だった場合、最終回まで再受験が可能です。

監督者委託型修了認定試験 10 月 17 日(日)
※再受験または特別に支障のある場合は 11/23(火・祝)

山間部離島へき地などの特別に交通が困難な場合は、所属する学校長等に監督を委託し「監督者委託型修了認定試験」を実施します。所属学校長等から監督者になることの了解と、学校を会場とすることについて承諾を受ける必要があります。希望者は、申込書の記載欄へ印をつけてください。

【対面講習 スケジュール】					
	必修領域	選択必修領域	選択領域[実技]		選択領域[講義]
	7/27 (火)	7/28 (水)	7/29 (木)	7/30 (金)	7/31 (土)
1 限	9:00～10:30	9:00～10:30	9:00～10:30	9:00～10:30	9:00～10:30
2 限	10:40～12:10	10:40～12:10	10:40～12:10	10:40～12:10	10:40～12:10
3 限	13:00～15:00	13:00～15:00	13:00～14:30	13:00～14:30	13:00～15:00
4 限	15:10～16:10	15:10～16:10	14:40～16:10	14:40～16:10	15:10～16:10
	(修了認定試験)	(修了認定試験)		(講評)	(修了認定試験)

必修領域・選択必修領域では、最終時限に行う修了認定試験（60 分）にて評価します。
選択領域では、講評および最終時限に行う修了認定試験（60 分）にて総合的に評価します。

コース・講座紹介

必修領域

教育の最新事情

現代の教育事情全般を内容として、学校教育の現場が抱えている課題や問題について論じます。

選択必修領域

A B どちらかを選択し、学習します。

A 教育相談と いじめ・不登校

教育相談のあり方について、教育現場の大きな課題であるいじめと不登校を焦点に論じます。

B 学習指導要領と アクティブ・ラーニング の動向

現行の学習指導要領と改訂の動向を踏まえ、特にアクティブ・ラーニングと造形ワークショップの動向に注目した内容です。

下記よりコースを
お選びください!!

I コース

対面講習

担当講師による講義を受け、講義最終時間に修了認定試験を受験します。

7/27
(火)

対面講習

担当講師による講義を受け、講義最終時間に修了認定試験を受験します。

7/28
(水)

II コース

通信講習

テキストをもとに学習し、レポートをまとめます。添削指導を経て、修了認定試験を受験します。

通信講習

テキストをもとに学習し、レポートをまとめます。添削指導を経て、修了認定試験を受験します。

III コース

対面講習

担当講師による講義を受け、講義最終時間に修了認定試験を受験します。

7/27
(火)

対面講習

担当講師による講義を受け、講義最終時間に修了認定試験を受験します。

7/28
(水)

IV コース

通信講習

テキストをもとに学習し、レポートをまとめます。添削指導を経て、修了認定試験を受験します。

通信講習

テキストをもとに学習し、レポートをまとめます。添削指導を経て、修了認定試験を受験します。

選択領域

A 絵画表現クラス

絵画の基礎的な表現による制作実習を行います。

B 彫刻クラス

人体モデル頭部塑造を通して、自然の観察を中心に、彫刻における形体や空間について実習します。

C グラフィックデザインクラス

言葉や情報の伝達にかかせない「文字、活字（フォント）」の基本的な知識と、その取り扱い方の基礎を学びます。

D テキスタイルクラス

染め（友禅染）の基礎的な技法による制作実習を行います。

E ガラスクラス

スタンドガラスの基礎的な技法による立体の制作実習を行います。

F 映像表現クラス

動画の撮影、編集の実習を通して映像表現の基礎を学びます。

G 鑑賞教育と展示企画

近年、図工・美術の授業で重要性を増している「鑑賞」の理念・実践や学校外のリソースである「ミュージアム（特に美術館）」の積極的な活用について、また、校内外での作品展示について講義・ワークショップ形式で講師・参加者とともに学びあいます。

7/29
(木)

7/30
(金)

7/31
(土)

対面講習

【実技講習】

上記 A～G の 7 クラスより受講したい 1 クラスを選択してください。
2 日間にわたって実技講習を行い、最終日に講評を行います。

対面講習

【講義講習】

美術教育実践研究
実習で学んだ造形要素を活かした教育計画の作成を目標として、新学習指導要領を基にした教育方法について講義を受け、最終時間に修了認定試験を受験します。

通信講習

美術教育実践研究

「教育方法開発」「題材開発」「教材開発」「連携開発」の 4 領域からなる「美術教育実践研究」全般を通信授業で行います。
テキストの学習をもとに、授業実践に即した学習指導計画やレポートをまとめます。添削指導を経て、修了認定試験を受験します。

【表面】

受講希望コース記入用紙

【裏面】

2021年度 武蔵野美術大学 免許状更新講習受講申込書

武蔵野美術大学免許状更新講習に申込みます。なお、以下の記載事項についてハシゴはハシゴよりハシゴ

ふりがな		申込者記入欄		申込日		2021年		月		日	
むさしの たろう				原則に連絡が取れる 電話番号を記入して下さい。		申込印		捺印を忘れず！ 			
氏名		武蔵野 太郎		東京都・府・県		ご連絡がすぐ取れる アドレスをご記入下さい。					
千 (180) - 8566)		吉祥寺東町3-3-7		22 (22) 8562		どちらかに丸をつけて下さい。		生年月日は初年度で記入 下さい。申込時の職任等を ご記入下さい。 () 歳 男・女			
(旧免許状所持者)		令和4年3月31日		昭和・平成							
修了確認期限・有効 期間の満了の年月日 (該当項目に○)		令和5年3月31日		生年月日							
○ その他(理由:例 休眠)				平成							
(新免許状所持者)				平成							
※複数教員免許状を所持している場合は最も遅い満了 修了期限の延長をされている場合期限を明記下さい。				修正期限を証明している場合は必ず、 証明書のコピーを添付下さい。							
※証明書のコピーを添付下さい。											
区分		[勤務校]		[職名]							
① [学校] 中学校、高等学校 中等教育学校、特別支援学校 に勤務している者 (※いずれか×)		武蔵野美術中学校		教師・助教諭・講師 業務助手・寄宿舎指導員 (※いずれか×)							
② 教員採用内定者・教員として任用・雇用 される (見込みのある) 者		[任用・雇用する (見込みのある) 任命権者・学校]									
③ 教員勤務経験者		[任用・雇用していた任命権者・学校法人、国立大学法人等の元勤務先]									
④ その他		[勤務先]		[職名]							
■監督者委託型修了認定試験について記入してください。											
監督者委託型修了認定試験の実施について、どちらかに○をつけてください。 希望する方へは改めて必要書類をお送りします。 ※本学による事業の上、山間部離島へき地などの特別な交通が困難な地域に勤務する方について行います。											
■障がい者を有している方で、希望する配慮・支援内容について記入してください。		希望します		希望しません							
障がいの種類・程度・症状等 希望する配慮・支援内容										本校受講中、配慮が必要な場合があります。 ご記入下さい。	

募集要項および記入例をよく読み、希望コース・希望クラス欄に○をつけてください。

* I～IVコースから希望するコースを選び、選択必修領域の希望クラス（A or B）を選択してください。

※選択必修領域の希望クラスがすでに定員に達している場合は、もう一方のクラスを受講していただきます。

* I・IIコースに○をつけた場合、選択領域のクラスを第2希望まで選んでください。

各コースとも選択必修領域はA・Bの2クラスに分かれます。希望クラスに○をつけてください。

コース (Oで囲む)	必修	選択必修	対面	第1希望	第2希望	受講料 (円)	
I	対面講習	希望コース番号を必ず Oで囲ってください。	教務相談といじめ・不登校 対面 A 学習指導要領と 7科目・7単位の の範囲	I・IIコースの選択領域はA～Gクラス に分かれます。7クラスから第2希望まで 選択可能です。	B 彫刻	50,000	
					C グラフィックデザイン		
					D テキスタイル		
					E ガラス		
					F 映像表現		
					G 健康教育と展示企画		
					A 絵画表現		
	通信講習		教務相談といじめ・不登校 通信 A 学習指導要領と 7科目・7単位の の範囲		B 彫刻		
					C グラフィックデザイン		
					D テキスタイル		
					E ガラス		
					F 映像表現		
					G 健康教育と展示企画		
III	対面講習		教務相談といじめ・不登校 対面 A 学習指導要領と 7科目・7単位の の範囲		通信	30,000	
							対面 B
	通信講習		教務相談といじめ・不登校 通信 A 学習指導要領と 7科目・7単位の の範囲		通信		
							対面 B
							通信 B
							通信 B
IV	対面講習		教務相談といじめ・不登校 対面 A 学習指導要領と 7科目・7単位の の範囲		通信	30,000	
							対面 B
	通信講習		教務相談といじめ・不登校 通信 A 学習指導要領と 7科目・7単位の の範囲		通信		
							対面 B
							通信 B
							通信 B

注意！

- ・ I およびⅢコースの必修領域の対面講習は同内容の講習です。定員はI・Ⅲコース合せて119名です。
- ・ I およびⅢコースの選択必修領域の対面講習A、Bクラスはそれぞれ同内容の講習です。定員はI・Ⅲコース合せて、Aクラス59名、Bクラス60名です。
- ・ I およびⅡコースの選択領域の対面講習A～Gクラスはそれぞれ同内容の講習です。定員はI・Ⅱコース合せて各クラス17名です。
- ・ 先着順で申込を受け付けます。第1希望が定員を超えている場合は、第2希望のクラスのクラスで受検申込を受け付けます。
- ・ コースを超えてクラスを選ぶことは出来ませんのでご注意ください。

記入例

【表面】

■プロフィールシート

■履歴

ふりがなは必ず記入して下さい。

ふりがな 武蔵野 太郎

写真裏面に氏名を記入

氏名 武蔵野 太郎

別にもう一枚
ご用意を

半年以内に撮影した
写真を貼付して下さい。

生年 昭和 平成 〇〇年 〇月 〇日生
月 日 (〇〇) 歳 男 ・ 女

どちらかに○をつけて下さい。

生年月日は和暦で記入して下さい。
申込時の満年齢を記入して下さい。

郵便番号も記入して下さい。

〒 (180-8566) 東京 都 道 ・ 府 ・ 市 武蔵野市吉祥寺東町 3-3-7

日中連絡が取れる電話番号を記入して下さい。

電話 (自宅) 22 (22) 8562
電話 (携帯) 090 (x x x x) x x x x

Email : go-koshin@musabi.ac.jp
FAX 0422 (22) 8060

学校名 武蔵野美術中学校

現任校 (又は
以前の
勤務校)

〒 (180-8566) 勤務経験者は以前の勤務校を記入して下さい。
小平市小川町 1-7-36

電話 x x x (x x x) x x x x

科 学 部

すべて記入して下さい。
書き切れない場合は、余白に記入して下さい。

どちらかに○を記入して下さい。

(通学・通信)

年 月 大学 部 科 卒業・修了

年 月 大学 部 科 卒業・修了

年 月 大学 部 科 卒業・修了

大学等の
学歴

特別支援教育領域

免許状

教諭 免許状 教科

教諭 免許状 教科

教諭 免許状 教科

更新講習受講歴を以下の1. 2から選択し○で囲んでください。

更新講習
の
受講歴

1. 初めて受講する。

2. 以前に受講したことがある。

更新講習受講歴を記入して下さい。

どちらかに○を記入して下さい。

[受講した機関 → 武蔵野美術大学 ・ その他の機関]

記入例

【裏面】

(現任校を除き、非常勤を含むすべての勤務校について記入してください。)						
武蔵野美術小学校	平成○年	4月～平成○年	3月	教諭	図画工作	
教員 経歴	書き切れない場合は、余白に記入して下さい。			～	年 月	
		年	月～	年 月		
		年	月～	年 月		
		年	月～	年 月		
		年	月～	年 月		
		年	月～	年 月		
		年	月～	年 月		
		年	月～	年 月		
		年	月～	年 月		

①～④について書き切れない場合は、別紙（任意）に記入して下さい。

■教育実践プロフィール(下記の情報は、履修にあたってのアドバイスや、個別指導の参考とします。)

①教科教育における実践歴 *該当がない場合は、なしとご記入下さい。
 (今までに取り組んできた領域や科目の領域や題材について主なものをご記入してください。)

②教科教育以外の実践歴 *該当がない場合は、なしとご記入下さい。
 (今までに取り組んできた学級経営、道徳、総合学習、生活指導等の主なものについて記入してください。)

③授業研究や各種教育研究など研究歴と主な研究内容 *該当がない場合は、なしとご記入下さい。

④学会、民間教育団体、ボランティアなど社会活動歴や行政等の委員などの経歴 *該当がない場合は、なしとご記入下さい。

記入例

更新講習受講対象者証明書

(メモ)

※校長等により受講対象者であることの証明を受けてください。
（証明書類の添付でも可）

どちらかに○をつけて下さい。

【受講者記入欄】

ふりがなむさしの たろう

氏名武蔵野 太郎

生年月日昭和 平成
〇〇 年 〇 月 〇 日

必ず証明者が記入して下さい。

【証明者記入欄】

上記記載の受講者が受講対象者として該当している区分に「○」を記入して下さい。

受講対象者の区分		該当区分
教育職員・教育の職	教育職員（主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師）（免許法第9条の3Ⅲ①）	○
	校長（園長）、副校長（副園長）、教頭、実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員（免許状更新講習規則第9条1①）	
	指導主事、社会教育主事その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する専門的事項の指導等に関する事務に従事している者（免許状更新講習規則第9条1②）	
	国・地方公共団体の職員等で、上記の者に準ずる者として免許管理者が定める者（免許状更新講習規則第9条1③）	
	その他文部科学大臣が定める者（免許状更新講習規則第9条1④）	
教員採用内定者・ 教員採用内定者に準ずる者	教員採用内定者（免許法第9条の3Ⅲ②）	
	教員勤務経験者（免許状更新講習規則第9条Ⅱ①）	
	認定こども園及び認可保育所の保育士（免許状更新講習規則第9条Ⅱ②）	
	幼稚園と同一の設置者が設置する認可外保育施設に勤務する保育士（免許状更新講習規則第9条Ⅱ②）	
	教育職員となる者が見込まれる者（臨時任用リスト掲載者等）（免許状更新講習規則第9条Ⅱ③）	

必ず記入して下さい。

年 月 日

必ず記入して下さい。

（証明者職名）
（証明者名）

公印

※上記記載の者は上記該当区分のとおり、教育職員免許法第9条の3Ⅲ及びⅡに該当する更新講習受講対象者であることの証明を受ける。必ず記入して下さい。

必ず記入して下さい。

必ず記入して下さい。

公印を忘れずに押して下さい。

(参考)

○所持する免許状の欄の書き方について【受講者本人記入欄】

免許状の種類	教科・特別支援教育領域等	授与年月日	有効期間の満了の日
幼稚園教諭(普通) 専修・一種・二種免許状	(特別のみ) 国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育 外国語(英語、ドイツ語、フランス語その他の外国語)	昭和・平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日
小学校教諭(普通・特別) 専修・一種・二種免許状	国語、社会、数学、家庭、音楽、美術、保健体育、保健、看護、情報教育、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉、福祉実習、船舶、船舶実習、職業指導、外国語(英語、ドイツ語、フランス語その他の外国語)、宗教	昭和・平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日
中学校教諭(普通・特別) 専修・一種・二種免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、看護、情報教育、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉、福祉実習、船舶、船舶実習、職業指導、外国語(英語、ドイツ語、フランス語その他の外国語)、宗教	昭和・平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日
高等学校教諭(普通・特別) 専修・一種免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、情報教育、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉、福祉実習、船舶、船舶実習、職業指導、外国語(英語、ドイツ語、フランス語その他の外国語)、宗教	昭和・平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日
特別支援学校教諭(普通) 専修・一種・二種免許状	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者	昭和・平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日
特別支援学校自立教科教諭(普通・特別) 一種・二種免許状	理療、理学療法、音楽、理容、特殊技能(美術、工芸、被服)	昭和・平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日
特別支援学校自立活動教諭(普通・特別) 一種免許状	視覚障害教育、聴覚障害教育、肢体不自由教育、言語障害教育	昭和・平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日
養護教諭(普通) 専修・一種・二種免許状		昭和・平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日
栄養教諭(普通) 専修・一種・二種免許状		平成・令和 年 月 日	令和 年 月 日

○旧免許状と新免許状の見分け方【受講者本人確認用】

＜旧免許状＞
平成21年(2009年)3月31日まで(教員免許更新制が導入される前まで)に授与された教員免許状のこと。有効期限として、生年月日等によって「最初の修了確認期限」が割り振られています。「更新講習修了確認証明書」等に記載された「次の修了確認期限」が現在の修了確認期限となります。

＜新免許状＞
平成21年(2009年)4月1日以降(教員免許更新制の導入後)に初めて授与された教員免許状のこと。有効期限として、教員免許状自体に「有効期間の満了の日」が記載されています。「有効期間の満了の日」が異なる複数の新免許状を所持する場合、すべての免許状の有効期間は、最も遅い「有効期間の満了の日」に自動的に統一されます。

※ともとも旧免許状を所持している場合は、平成21年(2009年)4月1日以降に新しく教員免許状を授与された場合でも、その教員免許状は新免許状ではなく、旧免許状として授与されます。旧免許状と新免許状を両方持つ、ということはありません。

※免許状更新講習は、旧免許状所持者の修了確認期限又は新免許状の有効期間の満了の日(複数の新免許状を所持する場合は最も遅い日に統一された日)の2年2ヶ月前から受講を開始することができます。それより前に受講することはできませんので、お間違えのないよう十分御確認ください。

○受講対象者の証明方法について【証明者記入様式】

受講対象者の区分			証明の方法(※注)
教育職員・ 教育の職	教育職員(主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師) (免許法第9条の3Ⅲ①)	公立学校	校長の証明 ※校長本人の場合は教育委員会
		国立学校	校長の証明 ※校長本人の場合は法人の長
		私立学校	校長の証明 ※校長本人の場合は法人の長
	校長(園長)、副校長(副園長)、教頭、実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員 (免許状更新講習規則第9条Ⅰ①)	共同調理場に勤務する学校栄養職員	増長の証明 ※増長本人の場合は教育委員会
教育職員 定者・ 教員採用内 定者に準ず る者	指導主事、社会教育主事その他の教育委員会の事務局(地教行法第23条第1項の条例の定めるところによりその長が同項第1号に掲げる事務を管理し、執行することとされた地方公共団体の当該事務を分掌する内部部局を含む。)において学校教育又は社会教育に関する専門的事項の指導等に関する事務に従事している者(免許状更新講習規則第9条Ⅰ②)		任命権者の証明
	国・地方公共団体の職員等で、上記の者に準ずる者として免許管理者が定める者(免許状更新講習規則第9条Ⅰ③)		任命権者又は雇用者の証明
	その他文部科学大臣が定める者(免許状更新講習規則第9条Ⅰ④)		その者の任命権者・雇用者の証明
	教員採用内定者(免許法第9条の3Ⅲ②)		任用又は雇用予定の者の証明
教育職員 定者・ 教員採用内 定者に準ず る者	教員勤務経験者(免許状更新講習規則第9条Ⅱ①)		任用又は雇用していた者の証明
	認定こども園及び認可保育所の保育士 (免許状更新講習規則第9条Ⅱ②)		当該施設の長の証明
	幼稚園と同一の設置者が設置する認可外保育施設に勤務する保育士 (免許状更新講習規則第9条Ⅱ②)		当該施設の設置者の証明
	教育職員となることが見込まれる者(臨時任用リスト登録者等) (免許状更新講習規則第9条Ⅱ③)		任用又は雇用する可能性がある者の証明

(※注) 証明者については例示であり、申請申し込みを行う者の任命権者が定めた者による証明であれば差し支えない。(例えば、現職の公立学校教諭の証明者が校長ではなく教育委員会の教育事務所長であった場合など。)

担当講師紹介

50 音順

伊藤 毅 教職課程教授 〔担当科目〕 必修、選択必修 A 〔専門分野〕 教育学 （教育哲学・いじめなどの教育問題論） いじめなどの教育問題についての論文多数。道徳副読本や教師用指導書の編集委員などをつとめた経験を持つ。	大坪 圭輔 教職課程教授 〔担当科目〕 選択 美術教育実践研究 〔専門分野〕 美術・工芸教育法、教育方法 公立中・高等学校や国立大学附属中・高等学校で美術教育にあたり、現在は美術教育実践研究に取り組むとともに、中学校美術科教科書編修なども担当している。
大村 俊二 工芸工業デザイン学科教授 〔担当科目〕 ガラスクラス 〔専門分野〕 ガラスにおける造形研究 86 年「Design Centre of London」ガラス部門デザイン賞受賞 99 年「第 2 回現代ガラスの美展」大賞受賞 00 年 International Glass Symposium 2000 招待制作(チェコ) 17 年 Pilchuck Glass School Session4「Materiality」講師 個展・グループ展等多数	北沢 昌代 教職課程講師、聖徳大学短期大学部准教授 〔担当科目〕 選択 美術教育実践研究 〔専門分野〕 美術教育法・教育方法 私立中・高等学校で美術教育にあたり、現在は幼稚園教諭・保育士養成、小学校教員養成課程等にも携わり、校種間を通した美術教育に関わる。
黒澤 誠人 映像学科/クリエイティブイノベーション学科非常勤講師 〔担当科目〕 選択 映像表現 〔専門分野〕 映像形式研究、メディア研究 2017 年「吉田直哉 映像とは何だろうか テレビ番組開拓者の思索と実践」展覧会担当 2018 年「吉田直哉の番組制作方法《層構造の映像構成》」論考発表 2018 年「堀尾幸男舞台美術展『乱反射』」展覧会図録編集	齋藤 典久 共通絵画研究室非常勤講師 〔担当科目〕 選択 絵画表現 〔専門分野〕 絵画 主な制作はキャンパスまたはパネル。アラン島を取材し創造と再生の繰り返しをテーマに作成
篠原 規行 映像学科教授 〔担当科目〕 選択 映像表現 〔専門分野〕 造形表現を視野にいたった映像領域全般。映像空間研究、展示設計デザインなど。 芦原義信建築アーカイブ展—モダニズムにかけた夢（映像部門展示設計・施工&映像企画制作）2017 年 吉田直哉—映像とは何だろうか—テレビ番組開拓者の思索と実践（展覧会監修&展示設計・施工）2017 年	白石 眞弓 工芸工業デザイン学科特別講師 〔担当科目〕 選択 テキスタイル 〔専門分野〕 白石眞弓染色アート学院 学院長 武蔵野市教育委員会主催 染織工芸 ” 色ノ泉 ” 代表 日本和装コンサルタント協会 手描友禅教授

杉浦 幸子 芸術文化学科教授 〔担当科目〕選択 鑑賞教育と展示企画 〔専門分野〕ミュージアムを活用した教育活動、特に鑑賞教育、アート・マネジメント 01 年 第 1 回横浜トリエンナーレ教育プログラム担当、 02～04 年 森美術館パブリックプログラムキュレーター、 05～11 年 京都造形芸術大学プログラムコーディネータ	杉下 城司 視覚伝達デザイン学科/デザイン情報学科非常勤講師 〔担当科目〕選択 映像表現 〔専門分野〕グラフィックデザイン及びタイポグラフィ 主なデザインワーク：銀座和光ビジュアルアイデンティティ「菅井汲展」「重森三玲の庭展」「珠玉のヨーロッパ油彩画展」など美術館ポスター・図録。「平野富二生誕百二十年記念祭」ポスター、記録誌。『タイポグラフィ学会誌 01, 02, 03 号』 講演：「サンセリフ体の潮流」「ヨーロッパ絵画とタイポグラフィ」「ローマンサンセリフ」等
高橋 陽一 教職課程教授 〔担当科目〕選択 選択必修 B 〔専門分野〕日本教育史学（宗教教育、国学） 公益財団法人私立大学通信教育協会理事長として通信教育の普及に努め、免許状更新講習のプログラム開発にあたる。	春原 史寛 芸術文化学科准教授 〔担当科目〕選択 鑑賞教育と展示企画 〔専門分野〕近代美術史、ミューゼオロジー、美術教育(鑑賞教育) 01-06 年 大川美術館学芸員、 09-13 年 山梨県立美術館・山梨県立博物館学芸員、 13-18 年 群馬大学教育学部准教授
松本 隆 共通彫塑非常勤講師 〔担当科目〕選択 彫刻 〔専門分野〕彫刻・ casting 技術・陶磁技術・実験考古学 陶磁・ブロンズ等を素材とした彫刻作品を個展・企画展にて発表。その一方で専門的かつ実践的視座から、古典彫刻技法の研究に携わり、学会や論文等で発表している。2018 年、イタリア、レージョカラブリア国立考古博物館にて、古代ギリシアの casting 技術について 5 編の研究発表。	三澤 一実 教職課程教授 〔担当科目〕選択 美術教育実践研究 〔専門分野〕造形美術教育・鑑賞 学校と美術館の連携及び美術館の教育普及活動の実践、また校種間連携の授業や題材開発などにも関わる。
山中 一宏 工芸工業デザイン学科教授 〔担当科目〕選択 テキスタイルクラス 〔専門分野〕工芸工業デザイン クラフト、工業デザイン全般を専門として、物と空間の関係性の研究を行う。	山本 一弥 共通彫塑教授 〔担当科目〕選択 彫刻 〔専門分野〕彫刻 衣服の皺や襷など、人の痕跡をテーマに透明樹脂を素材とした彫刻の制作・発表の他、JP TOWER NAGOYA や、横浜野村ビルなど、企業社屋の屋内外へのコミッションワークを手がける。
山本 靖久 共通絵画研究室教授 〔担当科目〕選択 絵画表現 〔専門分野〕絵画 現代の物質や情報などの「豊かさ」に対する反問譜として、精神的にも肉体的にも「豊か」であったであろう原初の時代の情景を平面作品、オブジェで制作。個展・企画展にて制作発表多数。主体美術協会会員、日本美術家連盟会員	渡辺 真太郎 デザイン情報学科/クリエイティブイノベーション学科非常勤講師 〔担当科目〕選択 映像表現 〔専門分野〕映像を用いたプロモーション、空間演出などの企画・実施に多数携わる。また、映像表現におけるデジタルマニピュレーションやセンサーデバイスを用いた映像インスタレーションの実践的研究を行う。

対面講習 受講者の声

* 2019 年度受講者の受講後の感想です。

* 2020 年度は新型コロナウイルス感染症に伴い中止となりました。

絵画表現クラスは、授業の始めから描き出すのではなく、まず巨大な2メートルほどもあるモチーフの樹根を受講生全員で運ぶところから始まります。長い年月を生きた樹根に触れることで、その重厚感やゴツゴツした手触り、匂いなどを体感しました。大人数で樹根を動かし、光の当て方を決めて制作開始です。

制作中、講師の山本先生と上楽先生は、優しく話しかけてくれて、私たち受講生がモチーフの樹根から何を感じ、どう作品を表現しようかを会話の中で読み取って、的確に助言してくれました。

また、他県や校種の違う先生と作品や授業、学校の情報を交換することもできて、有意義な時間を過ごせました。

今回の絵画表現クラスを受講したことで、単にデッサンのうまさを学ぶのではなく、造形作品を生み出す制作に対する心構えや、自己を見つめる大切さを学び、今後の美術教育に関わる自信になりました。

半山 修平 さん（埼玉県立所沢北高等学校 教諭）
【絵画表現クラス 受講】

私は「彫刻クラス」を選択しました。美術免許を所持し学校で指導されている方はもちろん、私のように免許外の方、現在美術免許を取得中の方もいらっしゃいました。

このクラスでは、モデルの観察を通して水粘土で頭部の塑像を作成しました。二日間、大変集中した環境のなかで時間をめいっぱい使い、それぞれ力を出し切って作品に取り組みました。学生に戻ったような初心の気持ちで学ぶことができ、充実した二日間でした。

講習終了後には図書館に行き、普段手に取ることができない図録や画集に触れることができたのも貴重な経験でした。武蔵野美術大学の蔵書は、日本でも有数だと聞きましたので、対面講習を受講した機会に是非一度訪れてははいかがでしょうか。

平嶋 三奈 さん（稚内市立稚内港小学校 元教諭）
【彫刻クラス 受講】

グラフィックデザインクラスで、活字の展覧会用ポスター制作を行いました。活字書体の歴史や作者、書体そのものについて学習した後に一つの書体を選択し、その魅力の伝え方を考えながら紙面に自由に構成しました。途中何度も先生が意見を下さり、考え直したりつくり変えたりしながら、細かな手作業で進めていきました。完成後は参加者全員が意図を説明し、それに対して講評をいただき、学び合いました。

普段と違い授業を受ける側となった時間はとても贅沢で終始楽しかったです。つくる気持ちが改めて分かる！アイデアを思いついてワクワクしたり、先に進まなくて焦ったり、だんだん出来上がって嬉しくなったり・・・新学期に向けて新しい授業を考えたくくなりました。ありがとうございました。

門脇 あずみ さん（中野区立塔山小学校 教諭）
【グラフィックデザインクラス 受講】

実習室に入ると色とりどりの板ガラスが目飛び込んできて、今日はこの素材でどんなことができるのかワクワクしました。初めて見る道具、知らなかった技法に「早くやってみたい！」とはやる気持ちを抑えながら、光をテーマに構想を練ります。制作活動が始まると、ガラスカットや接合は簡単にはいかず苦戦しました。しかし、自分の思い通りに行かないガラスという素材の抵抗感が心地良く、乗り越えたときの達成感はずいぶん良かったです。作品講評は、大村先生の温かいご指導を受け、受講者同士でお互いのよさや考えを伝え合うステキな時間でした。

ガラスに導かれ、ガラスと語り、ガラスに思いを織り込んだ二日間。私は素材の魅力を再確認しました。今後も、豊かな素材をきっかけに児童の豊かさを引き出す図工の授業を展開していきたいと思います。

穴戸 基樹 さん（江東区立亀高小学校 教諭）
【ガラスクラス 受講】

導入では古今東西の作品鑑賞をしながら制作手法や作品の背景に込められた意図など、興味深い解説を聞くことによって映像表現への見識を広げることができました。

また講評では、些細な表現を見逃さず言葉を尽くして作品を評価するという先生方の姿勢が、今後の自身の講評指導にとって大変勉強になるものでした。

講習の最後に黒坂先生、原田先生の作品を観させていただき、教える側も表現者であることでより作者への理解が深まり言葉に説得力が出るものなのだと納得できました。

映像とは特別なソフトや知識がなくては教えられないのではという概念があり生徒に教えられる自信が無かったため受講したのですが、特別な道具はいらない、表現することに臆するなと背中を押されたような講習会でした。

今野 紗和 さん（成城学園中学校高等学校ほか 講師）
【映像表現クラス 受講】

実技コースを選ぶとき、制作中心のクラスと迷いましたが、受講した「鑑賞教育とミュージオロジー」クラスの内容に、今はとても満足しています。

講義の授業では、杉浦先生と春原先生の鑑賞活動と学校・美術館の関わりについて、実践を通したお話を聴き、鑑賞教育の可能性や広がりを感じることができました。

実践の授業では、作家の方とともにその作家が作った作品を鑑賞したり、グループで選んだ作品を使って展示をしたりして、作品に対してより深く考える機会となりました。

最終日に同じクラスの方と、「このクラス選んでよかった！」と感想を共有できたことが印象的でした。すぐに現場で実践できるヒントを見つけられて、とても有意義な時間を過ごすことができました。

和知 直子 さん（八王子市立甲ノ原中学校ほか 講師）
【鑑賞教育とミュージオロジークラス 受講】
2021 年度より「鑑賞教育と展示企画クラス」

スタートすぐに綺麗な色のカラーインクを扱わせていただき、一気に緊張感がほぐれ、その後も工程に合わせて目の前の作品が次々に変わっていく楽しさに夢中になりました。卒業後は手で描くことから離れていたため、筆を持つこと自体もとても楽しかったです。出身校での講習でしたので在学当時に戻ったようで、あの頃は毎日朝からずっと制作していたのだなと、その贅沢な時間の再来を堪能した 2 日間でした。

道具からセッティング、様々な制作までとても良くできたカリキュラムで、先生やお手伝いの大学生さんにも助けていただきながら、参加した全員がそれぞれの個性あふれる素敵な作品を完成させることができました。

作品を作る楽しさ喜びを再認識。生徒達にもしっかり伝えていきます。

喜多崎 薫 さん（東京都立工芸高等学校 講師）
【テキスタイルクラス 受講】

お問合せ先

武蔵野美術大学 更新講習係 0422-22-8562

〒180-8566 東京都武蔵野市吉祥寺東町 3-3-7

FAX 0422-22-8060 E-mail cc-koshin@musabi.ac.jp